



西林寺境内 鐘楼



西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
iタウンページ
西林寺

杖のことば

セミの一生は短くて

むなしいと

決めつける人間

人間の一生こそ

むなしく

すぎてないかと

問いかける

セミの声

花まつり



お釈迦様に甘茶をかけます

4月1日(土)
「花まつり」を行いました。「花まつり」は、仏教を開かれた「お釈迦さま」のご誕生を祝う集いです。



みんな静かに聞いています

お釈迦さまの「誕生仏」に甘茶をかけてお祝いしました。その後、住職さまからお話があり、読み聞かせ会の方から、絵本



絵ほんのじかん

を見ながらお話を聞きました。そしてお歌の時間やゲームの時間で楽しいひとときを過ごしました。

キッズサング
のご案内
7月27日(木)
夏休みにお寺で一日過ごしましょう。「そうめん流し」もあります。申し込みは西林寺及び最寄りの若婦人会会員まで。
☎885,0018



前回のキッズサングの皆さん

法座案内

安居会

七月 六日(木)昼席より
八日(土)朝席まで
講師 甘露の会 諸師

孟蘭盆会

八月 十四日(月)昼席より
十六日(水)朝席まで
講師 呉市 安浦町 信楽寺 広幡康祐師

彼岸会

九月 二十二日(金)昼席より
二十四日(日)朝席まで
講師 江田島市 小用 西円寺 足利弘宣師

編集後記

『西林寺だより』を創刊して2年目になりました。今後ますます充実した内容になればと考えております。行事は毎年ほとんど同じですが、少しでも新鮮な報告ができればと思います。ご理解とご支援、そしてご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。

西林寺の沿革(その2)

真言宗のお寺として創建された西林寺の前身である塔半寺は、浄土真宗に改宗されるまでの200年間の記録は、鎌倉時代制作とされる本尊の大日如来像以外は伝えられておりません。それは真言宗が大眾向きであったといっても、僧侶は世襲制ではなく、本山からの派遣という形態をとるため、浄土真宗のように地域の民衆と密接に繋がることは少なかったからなのでしょう。

塔半寺は、当時のこの辺りの地名である「塔ノ岡」(東岡4733)に、ちなみに名づけられたようです。200年後、道羽の時に浄土真宗に改宗し、慶安3(1650)年、道明の時に森山が藩の御用山林になり、在来の樹木を請い受けて寺地を移転しますが、その時代に境内にあったと伝えられているモッコクの木は、坂町指定の天然記念物として、今も大切に保護されて往時を語りかけているようです。



塔半寺のモッコク

聞思録(もんしりく)

住職を拜命して31年目を迎え、最近よく皆さまにお育ていただいた昔のことが思い出されます。それは法座やお仏壇の前に限らず、いつでもどこでも、手を合わせて目に涙をためて「なんまんだぶ。なんまんだぶ。ありがとうございます。もったいのうございませう。」とおっしゃられた、ご年配の皆さまのお姿です。今の私たちの方が快適で便利な生活をしているはずですが、たとえ不便であっても、間違ひなく心豊かに生きていらっしやるお姿でした。その後姿から「つべこべ言わず、おかげさまと手を合わせて喜ばせてもらえ」と教えていただきました。そこにはふたつの大切な意味があると思います。

ひとつは、手を合わせてゆかなければ、これまでこの「いのち」を支え育んでいただいたご恩はわからないということです。「ご恩がわかれば、手を合わせて喜ばせてもらおうよ」と言う人もいらっしやるでしょう。しかし「親のご恩がわかれば法事も勤めるし、墓にも参ってお礼を申すよ」という人ほど、親のご恩を知ることによって縁遠い生き方をされているのではないのでしょうか。わからずとも数多のご恩をいただいて生かされてあることに気づくには、まず手を合わせることに手を

合わせる意味が少しづつ、自身の中で自然に問いとなって、これまで気づき得なかったご恩が知られてゆく機縁となるのです。

もうひとつは、いくらご恩が知られてきても、人間の浅はかな独りよがりの知恵では、ほんの一握りのことしか知り得ることはできません。知り得ない数多のご恩をいただいて生かされてあることを感得するには、まず手を合わせることに肝要だということです。

仏法は自分のものの見方の不確かさを教えてくれます。「自分の価値判断を離れた、もうひとつのものをさしを持って」と。

セミの一生は短くて
むなししいと決めつける人間
人間の一生こそ
むなくすくずぎてないかと
問いかける セミの声

セミの一生を勝手に空しいと決めつけて、自身の「いのち」の行く末に暗いこの身こそ、もうひとつのものさしを持つ必要性に気づかなければなりません。

手を合わせてお念仏申す生活とは、今日までお育ていただいた数多のご恩を気づかせしめんと呼びかけ、はたらき続けてくださる大きなお恵み(仏さま)に対して、心の眼を開き、そこにうなずいたこの身の事実を感謝するということです。そこにほんとうの豊かな人生が恵まれてくるのです。

仏前結婚式

4月8日(土) お釈迦さまの御誕生された日に、西林寺本堂で結婚式が執り行われました。当日は坂雅正会のお厳かな雅楽の調べのもと、おふたりの新たな門出を満開の桜も祝福しているようでした。



結婚式は自身の人生の確かな帰依所(よりどころ)であるご本尊(絶対者)の前で、おふたりが結婚の誓いを立て、末永く契りを結ぶ報告をする儀式です。ですから、仏教徒は仏式、キリスト教徒はキリスト教式、神道を信じている人は神式で執り行うのが本来の姿です。

最近では参列者の前で結婚の誓いを立てる人前結婚式もあるようです。そして、結婚披露宴は結婚の誓いを立て、末永く契りを結ぶ報告をしたことを有縁の皆さまに披露する祝宴です。

仏前結婚式はホテルでも執り行われます。あなたも仏前で結婚式をしませんか。

仏教婦人会 あれこれ

仏教婦人会総会及び追弔法要



4月19日(水)平成28年度に亡くなられた、会員21名の追弔法要が多くの参詣いただき、厳かに営まれました。21名の物故者の皆さまのご生前の活動に心から敬意を表し、心から感謝申しあげます。

続いて平成29年度の総会が開催され、

初参式

5月21日(日)親鸞聖人のお誕生日に仏前において、新しい生命の誕生を祝う初参式が執り行われました。3名のお子さまとご家族が参加され、住職から念珠と記念品をいただき、門徒の仲間に入りました。



アトラクション

その後、法座の昼席に続き、恒例の祝賀アトラクションが門信徒会館で開かれ、歌や踊りで盛り上がり、親鸞聖人のご誕生をお祝いしました。



仏教壮年会 あれこれ

仏教壮年会総会及び懇親会



4月1日(土)平成29年度総会を行いました。3分咲きの桜の下、寒さも少し感じる天候ではありましたが、恒例の花見をしました。本年度から奥総代長も仏壮会員としてご参加いただき、会員一同心強く思っております。おいしい弁当と、横懸親を深めました。

納涼ビヤガーデンのご案内

好評をいただいております納涼ビヤガーデンを7月29日(土)午後5時より開催します。お寺の境内で坂町のすばらしい夜景を見ながら、おいしい料理と冷えたビール。「そんな流し」もあります。ゲストは国際的に有名な篠笛奏者「デヴァ ヨーコ」さんをお招きする予定です。どなたでも参加できます。子どもさんも一緒にどうぞ！

申し込みは西林寺(☎88510018)

前年度の事業報告及び決算報告を審議して全員一致で承認されました。今年度は、役員2年目を迎え、一同力を合わせて活動に取り組みます。

皆さまのなご一層のご理解とご協力をお願いいたします。



仏教婦人会行事予定

- 一、本堂おみそぎ 8月11日(金)
 - 二、盆踊り 8月15日(火)夜席の後
- みなさまのご参加をお願いします

御挨拶

門徒総代長 奥 紘太郎

5月27日(土)に平成29年度門徒総代会定例総会が開催されました。皆さまからお預かりしております門徒講金を元に活動しております門徒総代会の収支決算をご報告いたします。

また、今般本願寺第25代専如門主法統継承等を記念しての記念事業が、本願寺及び西林寺で計画され懇志進納をお願いしましたところ、早速のご記帳と早々のご進納をいただきました。誠にありがとうございます。感謝に堪えません。今後、記念事業の進捗状況も『西林寺だより』を通して随時ご報告申しあげます。

なお、4月と5月に計画されました専如門主伝灯奉告法要団体参拝旅行の様子を裏面に掲載します。今後とも一層のご理解とご協力をよろしくお願ひ申しあげます。 合掌

平成28年度 門徒総代会会計収支決算報告

【 収 入 の 部 】

平成29年3月31日現在 (単位:円)

項 目	金 額	摘 要
繰 越 金	198,288	平成27年度より
門 徒 講 金	3,291,000	
助 成 金	400,000	西林寺より
寄 附 金	50,000	院号申請者より(小坂博子様)
回 金	300,000	門信徒会館特別会計より
積立金繰入金	900,023	積立金会計より繰入
雑 収 入	7,636,149	共済保険解約金・香典返し(植花富皇様)他
合 計	12,775,460	

【 支 出 の 部 】

項 目	金 額	摘 要
各種賦課金	1,582,240	本願寺賦課金・安芸教区賦課金・安芸北組組費
組総代会費	11,000	安芸北組総代会へ
総代会議費	171,880	総会・役員会・監査会・地区代表者会議(含、総会印刷費)
総代研修費	45,000	総代研修諸費
建物保険料	4,803,460	共済保険(本堂1億5千万円・客殿2千万円) 火災保険(本堂3千万円)
工事請負費	935,071	客殿東側崖補強工事
修繕費	100,000	境内樹木剪定
電気代補助	300,000	西林寺へ
上下水道費	25,000	
教化助成費	170,578	仏教婦人会・仏教壮年会・活性化委員会
教化教材費	200,000	『西林寺だより』製作費・教区広報誌『見真』購読料
門徒講還付金	317,100	
雑 費	44,002	境内松剪定謝礼、振込手数料・他
繰 出 金	3,606,138	記念事業特別会計へ繰出
予 備 費	14,004	教化教材費・上下水道費不足分
積 立 金	100,000	積立金会計へ(積立金合計209,800円)
合 計	12,425,473	

* 収入合額 12,775,460円 - 支出合計 12,425,473円 = 349,987円 (次年度へ繰り越す)

上記決算書の監査の結果、いずれも適正かつ正確に処理されていることを認証する。

平成29年4月2日

監査委員
監査委員

奥 廻 豊太郎
植 花 富 皇

伝灯奉告法要団体参拝旅行

第一班報告



安芸教区は全て赤スカーフです

4月26日(水)より2泊3日の日程で専如門主伝灯奉告法要に30名で参拝。夕刻より本願寺内がライトアップされ、国宝の建築物の内外の優美な姿に感動しました。翌朝、本願寺の誇る京都3名閣のひとつ「飛雲閣」の

中で琴の調べを聞きながら抹茶の接待を受けました。

午後から「天橋立」と舟屋の里「伊根」、「余部鉄橋」に立ち寄り、湯村温泉に宿泊。

3日目は鳥取砂丘を散策後、因幡の妙好人、足利源左ゆかりの「願正寺」に参拝しました。



飛雲閣のライトアップ



温泉卵「はあ-え-かいの!」「まだよ!」



因幡の願正寺



因幡の願正寺



天橋立・またのぞき「おっと! 転げそうな!」

第二班報告

5月10日(水)

より1泊2日の日程で40名法要に参拝。第1班同様、法要と夜間「ライトアップ」、国宝「飛雲閣」での抹茶の接待を受けました。

ご住職からの「はたらくとはなあ、傍らにすることだえ」という源左さんのエピソードを拝聴し、一同深く感嘆しました。帰路、蒜山高原では家庭ではなかなか食べれない「チーズフォンデュ」をいただきました。



大阪城内石山本願寺顕彰碑前



四天王寺

それから一休さん終焉の地である「酬恩庵一休寺」と「四天王寺」にお参りしました。最後に約450年前、蓮如上人の時代に建てられた石山本願寺の跡地である「大阪城」を散策し、蓮如上人の六字名号の刻まれた顕彰碑の前でお勤めをしました。この地は築城に絶好の立地条件のため、織田信長が本願寺に明け渡しを迫り、



一休寺の庭園拝見



大阪城内石山本願寺顕彰碑

織田信長と11年に亘り争ったという歴史の舞台です。この時、安芸門徒は海路を利用し、本願寺に救援物資を運搬し、本願寺を支えました。多くのご勝縁に遇えた参拝旅行でした。